



歯科国試
パーフェクトマスター

小児歯科学

河上智美 編著

第5版

令和5年版

歯科医師国家試験出題基準 対応



歯科医師国家試験

合格に

この1冊!



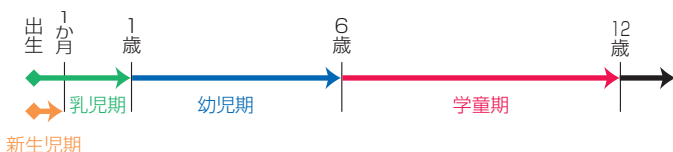
医歯薬出版株式会社

小児の全身発達

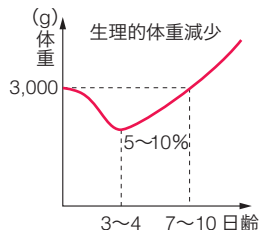
Check Point

- ・1歳，1歳6か月，3歳，6歳での身体や精神の特徴を覚える。
- ・運動機能，言語，情動の発達の年齢変化を理解する。
- ・食育に関する哺乳・離乳・摂食の機能や役割について理解する。

I. 発育期の分類



| | | |
|------|--|-------------|
| 出生前期 | 細胞期：0～14日 胎芽期：14日～9週 胎児期：9週～出生 | 標準的在胎期間：40週 |
| 新生児期 | 周産期：胎生22週～生後6日 出生後4週間 出生時の平均身長：約50cm 平均体重：約3,000g，男児>女児 生理的体重減少：200～250g減少し7～10日で出生時体重に復帰する。 原因：①出生直後は哺乳力が弱く水分補給が不十分，②胎便や尿の排泄，③羊水の嘔出，④皮膚や肺からの水分喪失（不感蒸泄）など | |
| 乳児期 | 満1歳まで | |
| 幼児期 | 1～6歳 | |
| 学童期 | 6～12歳 | |

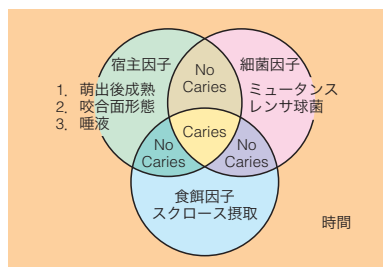


齲蝕の予防と進行抑制

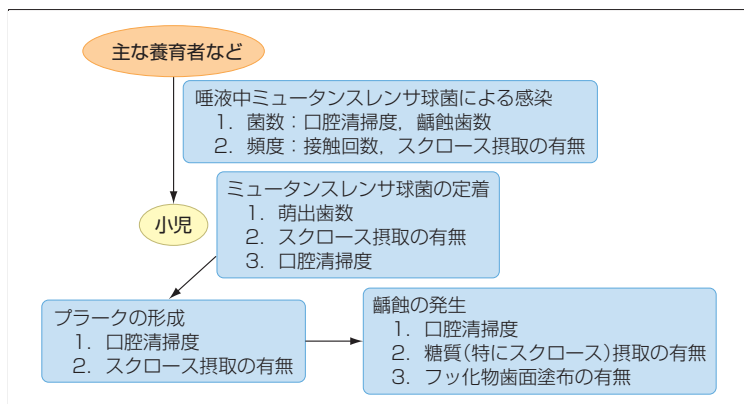
Check Point

- ・小児の発達に応じたフッ化物応用法を理解する.
- ・各予防処置は術式までおさえる.

I. 齲蝕の病因



Keyes が提示した齲蝕の病原因子 (Keyes, 1962. 改変)



小児齲蝕発生のプロセス

口腔軟組織疾患

Check Point

- ・疾患名，原因，症状，好発部位，およびその対応法を理解する。
- ・症状では形態，色などが重要である。
- ・視覚素材を用いた問題では，疾患名や対応を問われることが多い。
- ・対応法の選択理由も出題されている。

I . 口唇の病変

A 口唇炎 口唇部炎症の総称。アレルギー性口唇炎，剥離性口唇炎など



牛乳アレルギーによる口唇腫脹

原因 物理的，化学的刺激によるものや原因不明も多い。

症状 口唇の乾燥，表皮の落屑，亀裂など

対応 原因に対する対応，対症療法としてグリセリン軟膏の塗布

B 口角びらん



口角部の発赤，亀裂，痂皮形成

原因 流涎による細菌感染，高熱性疾患，重症慢性疾患，ビタミンB₂の欠乏など

症状 口角部の発赤，亀裂，痂皮形成した後，2～3週間で治癒する。

対応 全身的→原疾患の治療を優先する。
局所的→清掃消毒し，軟膏を塗布する。

障害児の歯科診療

Check Point

- ・身体・知的・精神・発達障害者の相違を理解する。
- ・まず口腔内の特徴、次に疾患の特徴を理解する。
- ・障害者への歯科対応は障害の種類やレディネスによって判断する。
- ・最近では症例写真から歯科治療時の注意点を問うものが多い。

I. 心身障害の分類

| 区分 | 法律上の定義 | 内容 | 手帳制度・等級 |
|-------|----------------|---|--|
| 身体障害者 | あり 身体障害者福祉法 | 「身体障害者障害程度等級表」に掲げる身体上の障害がある18歳以上の者であって、都道府県知事から手帳の交付を受けたもの | 身体障害者手帳 (障害児にも交付) 1～6級(等級表は7級まで) |
| 知的障害者 | なし 知的障害者福祉法 | 知的障害者福祉法では、知的障害の定義を定めていない。「社会通念上知的障害者と考えられるもの」と解釈している | 療育手帳 A, B (自治体によって異なる) |
| 精神障害者 | あり 精神保健福祉法 | 統合失調症、精神作用物質による急性中毒またはその依存症、知的障害、精神病質その他の精神疾患を有する者 | 精神障害者保健福祉手帳 (有効期間2年) 1～3級 |
| 発達障害者 | あり 発達障害者支援法 | 自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの | 精神障害者保健福祉手帳 (有効期間2年) 1～3級 |

クラウンループ（バンドループ）（Dの早期喪失の場合）

| 手 順 | チェアサイドの注意点 | 技工操作の注意点 | 使用器具 |
|-------------|--|--|--------------------------------|
| 1) 印象採得 | 製作したEの乳歯冠を口腔内に試適したまま印象採得する | | 印象採得 |
| 2) 作業用模型の製作 | ①印象内面に乳歯冠を正確に戻し、瞬間接着剤で仮固定後、乳歯冠内面の頬舌側にワックスを流す | ②石膏注入し作業用模型を製作する ③ループ部はリリースする | 咬合器、石膏絆創膏 |
| 3) 外形線の記入 | | ループの内径は後継永久歯の頬舌的幅径より大きくする | |
| 4) ワイヤーの屈曲 | <p>上顎 10mm 下顎 8mm</p> <p>ループ 自由端</p> | ループ自由端は90°の立ち上がりをつける Cの遠心最大豊隆部直下にループの支持点を求める リリースした欠損部形態に沿わせてワイヤーを屈曲する 対合歯とワイヤーが接触しないこと | φ0.8～0.9mm 矯正用線 Youngのブライヤー |
| 5) ろう着 | | ループを石膏で固定し、ろう着する ろうはワイヤーを完全に覆う | ろう着用具 石膏（固定用） |
| 6) 研磨 | | | 研磨用具 |
| 7) 装着 | | | 合着セメント |

< 定期検診 >

- 8) 定期検診にて、4 萌出まで経過観察をする。
- 9) 4 萌出開始後に、クラウンループはループを切断する。
バンドループは装置を撤去する。